

武蔵野市障害者福祉サービスあり方検討有識者会議の
傍聴に関する取扱要領（案）

（目的）

第 1 条 この要領は、武蔵野市障害者福祉サービスあり方検討有識者会議（以下「会議」という。）の傍聴に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（傍聴人の定員）

第 2 条 傍聴人の定員は 10 名とする。なお、定員を超えた場合は、申し込み先着順とする

（傍聴の手続き）

第 3 条 傍聴人は、会議開催の前日までに、直接、障害者福祉課に連絡を行い、住所、氏名、連絡先、人数を伝え、傍聴の申し込みを行う。

（傍聴席以外への入場禁止）

第 4 条 傍聴人は、傍聴席以外に入ることができない。

（傍聴席に入ることができない者）

第 5 条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器、火薬その他危険物を持っている者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) ラジオ、拡声器、マイク等議事を妨害し、または人に迷惑を及ぼすと認められる物を持っている者
- (4) 前各号のほか、委員長が議事進行上支障をきたす恐れがあると認める者

（傍聴人の守るべき事項）

第 6 条 傍聴人は、傍聴席では次の事項を守らなければならない。

- (1) 静粛を旨とし、騒ぎ立てるなど議事の妨げとなるような行為をしないこと。
- (2) 会議における発言に対して拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないこと。
- (3) 会場内では喫煙をしないこと。
- (4) 前各号に定めるもののほか、会議の秩序を乱し、または議事の妨げとなるような行為をしないこと。

（写真、映画等の撮影及び録音等の禁止）

第 7 条 傍聴人は、傍聴席において写真・映画等を撮影し、又は録音をしてはならない。ただし、委員長の許可を得たものは、この限りではない。

(傍聴人の退場)

第 8 条 傍聴人は、会議が非公開とする議決があったときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第 9 条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第 10 条 傍聴人がこの取扱要領に違反したときは、委員長はこれを制し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

付 則

この要領は、平成 28 年 6 月 2 日から施行する。